

下地や床材の種類によって工法・専用接着剤は異なります。詳細は別紙「工法」の表でご確認ください。  
(記載内容以外の工法での施工トラブルは、原因説明ができませんのでご相談には応じられません。)

## 1. 下地の確認・清掃

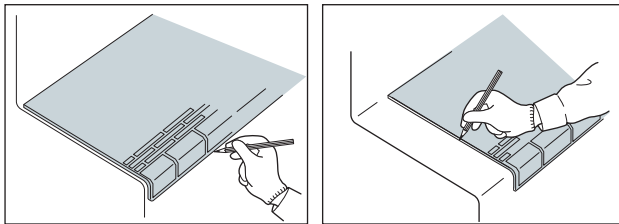
- 下地に割れ、欠け、極度の湾曲がある場合は施工できません。補修を行ってください。
- 砂、塵埃などを除去してください。

## 2. 裁断とけがき

- スケール、直定規で階段の中・奥行・前垂れ部の寸法を測定し、タキシールの仕上げ代として排水溝は5mm以上、壁際は3mm程度の間隙が空くように裁断してください。

※平鋼板製階段の場合、タキシールがササラ面や蹴込み面にかからないように、端部に隙間を空けてください。

- 仕上げ寸法に裁断後、タキステップを施工する位置に仮敷きし、下地に鉛筆などで仕上がり寸法をけがいてください。



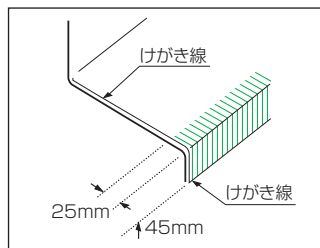
●階段全面に張る場合

●階段の端部を開けて張る場合

## 3. 下地用プライマー液(タキボンド#625)の塗布

※プライマータキボンド#625 (別売)を購入してください。

図のように下地斜線部に(端部を開けて張る場合は、けがき線より5~6mm広く)タキボンド#625をハケで均一に塗布して20~30分間乾燥させます。タキボンド#625塗布面は汚さないように注意してください。また、1日以上乾燥させないでください。



●階段の端部を開けて張る場合

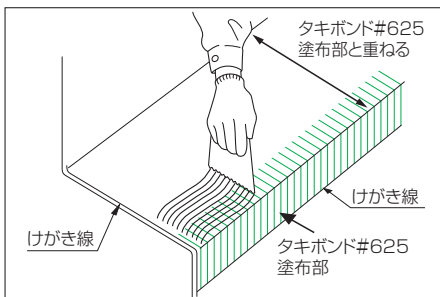
## 4. 接着剤の塗布

- 図のように踏み面に床用接着剤をタキボンド#625塗布部と重なるようにクシ目ゴテで均一に塗布し、オープンタイムを30~40分程度取ってください。
- オープンタイムが短いと、初期の接着力が発揮されないため、タキステップが手前へ押し出されたり、階段入り隅部に浮きが生じたりします。
- 張り付けは、最下段から上段に向かって行いますので、接着剤塗布後は張り付け作業が最下段にいるようにしてください。

オープンタイムの目安(20°C)

| 接着剤       | オープンタイム | 張り付け可能時間 |
|-----------|---------|----------|
| タキボンド#607 | 20~30分  | 40~50分   |
| タキボンド#601 | 30~40分  | 60~70分   |
| タキボンド#701 | 30~40分  | 50~70分   |

※5°C以下では使用しないでください。(硬化反応が進みません。)

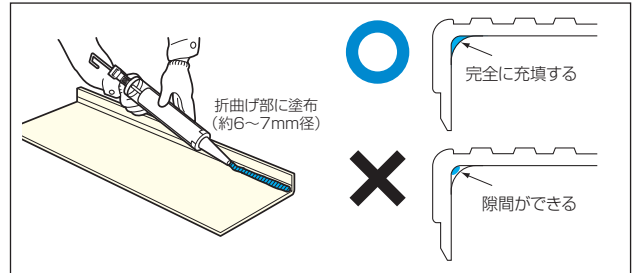


## 5. 両面テープの剥離紙の剥がし

タキステップ裏面に貼り付けてある両面テープの剥離紙を剥がしてください。

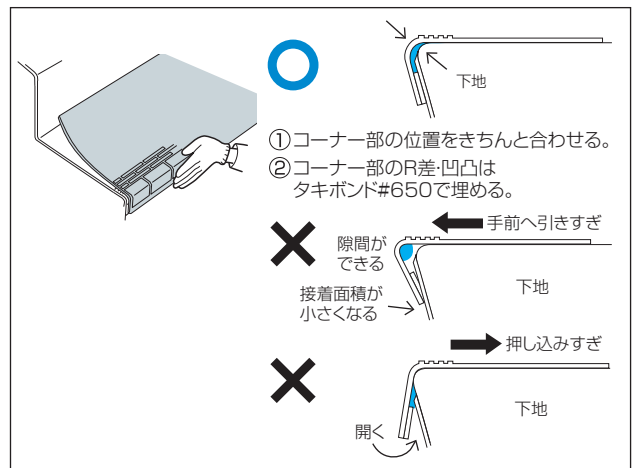
## 6. 段鼻充填用接着剤(タキボンド#650)の塗布

- タキステップ裏面の折曲げ部(段鼻部裏面)にタキボンド#650を、コーキングガンで約6~7mm径の太さで均一に塗布してください。
- タキボンド#650を塗布しなかったり、塗布量が不十分な場合、**段鼻部に亀裂や剥離が発生する恐れがあります**ので、注意してください。
- 下地の状態が悪く、付属品だけで数量が不足する場合には、**別売品を追加購入してください**。



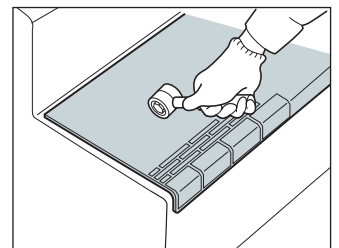
## 7. タキステップの張り付け

タキステップの折曲げ部を階段の曲がり部(段鼻部)に当てがい、下地とタキステップの折曲げ部との間に空洞が生じないように注意して張り付けてください。



## 8. 圧着

タキステップ全面をハンドローラーで十分に圧着してください。**タキボンド#650を塗布した折曲げ部は圧着しないでください。**(圧着すると、タキボンド#650が流動し空洞が生じます。)

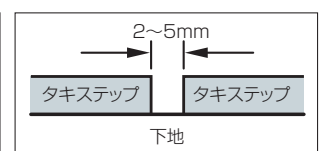
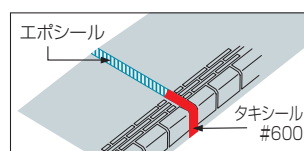


## 9. 継目処理

- タキステップ同士の継目はエンボスの谷間で2~5mm程度の間隙を空け、マスキングテープで養生後、右図のように継目処理を行ってください。

- エポシール・タキシールが硬化するまで、最低2~3日養生してください。**養生時間は気温によって左右されますので、十分ご注意ください。

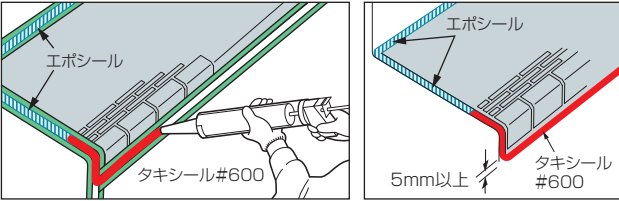
| 踏み面部  | 段鼻部       |
|-------|-----------|
| エポシール | タキシール#600 |



## 10. 端部処理

- タキステップの全周をマスキングテープで養生し、右図のように端部処理を行ってください。
  - タキシールは巾が5mm以上になるように仕上げ用ヘラなどで処理してください。
  - マスキングテープは仕上げ後、直ちに取り除いてください。
- ※平鋼板製階段の場合、エポシール・タキシールがササラ面にかからないように、隙間を空けて踏み面部で処理してください。

|       |           |
|-------|-----------|
| 踏み面部  | 段鼻部       |
| エポシール | タキシール#600 |



## 11. 養生

タキステップ施工・清掃後、タキボンド#650・エポシール・タキシールが硬化するまでは歩行をできるだけ控えてください。

特に段鼻部はタキボンド#650が流動したまま硬化しますと、亀裂や剥離が発生する恐れがありますので注意してください。



- 平鋼板製階段につきましては、十分な防錆処理(クレン・錆止め・上塗り)を施してください。
- 下地に防水層がある場合は、カッターナイフ等で傷を付けないようにしてください。
- タキストロンと溶接処理する場合は、段差が出来ないように仕上げてください。
- 前垂れ部のタキシール巾が5mm未満、または5mm以上でも適正量打設できないと前垂れ部の強度が不足し、浮きが発生する恐れがありますので注意してください。
- 端部処理は全周行うことを標準工法としております。

プールサイド用

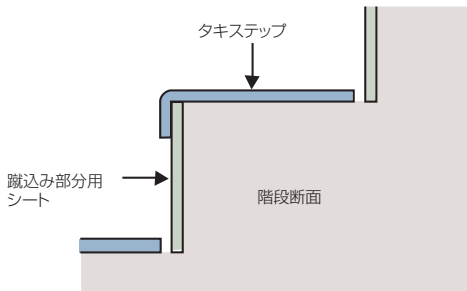
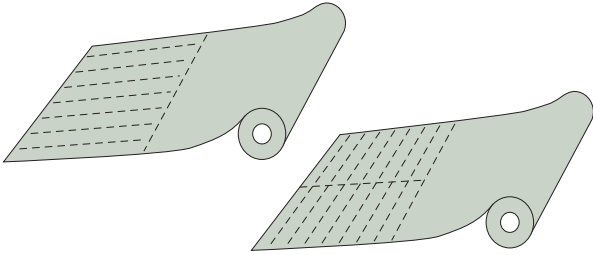
## 蹴込み部分用シートCW (3X・3K用)

施工方法

下地や床材の種類によって工法・専用接着剤は異なります。詳細は別紙「工法」の表でご確認ください。  
(記載内容以外の工法での施工トラブルは、原因説明ができませんので相談には応じられません。)

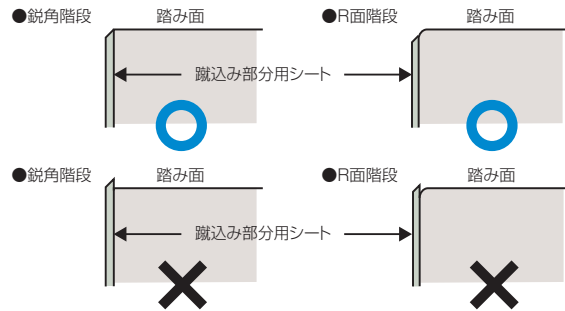
### 1. 蹴込み部分用シートの施工

- 蹴込み部分用シートを張付けてからタキステップを施工してください。
- ※蹴込み部分用シートの流し方向は、縦・横どちらの方向でも結構ですが、全段で方向を統一してください。



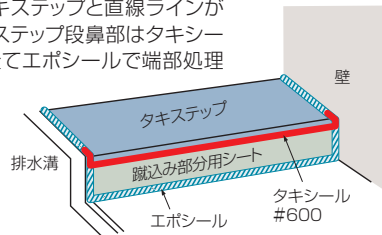
### 2. 蹴込み上端部の断裁

- 蹴込み上端部の断裁は専用接着剤で張り付けてから、下図のように踏み面より短く、斜めカットしてください。

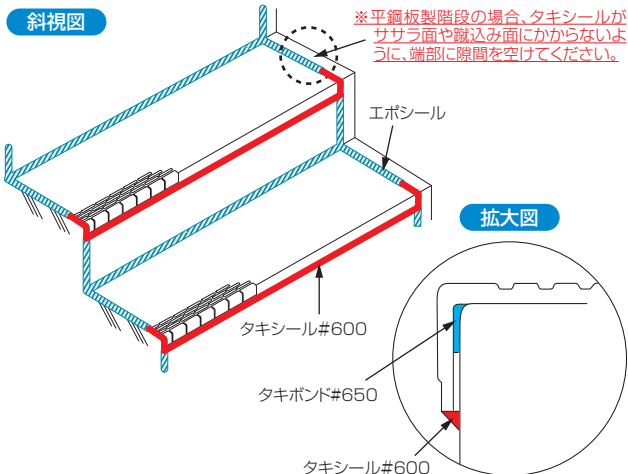


### 3. 端部処理

- 側面端部の仕上げはタキステップと直線ラインが得られるようにカットし、ステップ段鼻部はタキシール#600、それ以外は全てエポシールで端部処理します。
- エポシールは巾5mm以上(目安は5~7mm)になるように仕上げ用ヘラなどで処理してください。



### 標準納まり図



### 副資材標準使用量一覧表

|         |             | タキボンド#607    | タキボンド#701    | タキボンド#625    | タキボンド#650 | 段鼻部       | 踏み面周囲 |
|---------|-------------|--------------|--------------|--------------|-----------|-----------|-------|
|         |             | タキボンド#601    |              |              |           | タキシール#600 | エポシール |
| 1800タイプ | 蹴込み部分用シート無し | 78段/<br>18kg | 78段/<br>16kg | 31段/<br>400g | 5段/本      | 9.5段/本    | 25段/本 |
|         | 蹴込み部分用シートあり | 50段/<br>18kg | 50段/<br>16kg | 31段/<br>400g | 5段/本      | 9.5段/本    | 22段/本 |

- タキボンド#650はタキステップに付属されていますが、下地の状態が悪く、付属品だけで数量が不足する場合には、別売品を追加購入してください。